海星だより

第７号　平成25年　８・９月　　広島県立大崎海星高等学校
http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/

○ウェリントン・ハイスクールに短期留学しました。（８月３～16日）

本校の岡本真歩さん（２年）と井上翔太君（１年）の２名が，姉妹校であるウェリントン・ハイスクールに２週間の短期留学をしました。英語の授業を受け，ウェリントン・ハイスクールの生徒と交流を深めるとともに，ニュージーランドの先住民族であるマオリ族の民族舞踊「ハカ」等，ニュージーランド固有の文化を体験することもできました。２週間の留学を通して，それぞれ新しい目標を見つけることができたようです。

生徒の感想

やはり普段の生活の中で一番困ったのは自分の気持ちを相手に伝えることでした。頭の中では言いたいことがたくさんあるのですが、それを英語でどう伝えればいいのかわかりませんでした。私の不十分な英語でも理解してくれようとしたホームステイの家族に私は感謝の気持ちでいっぱいになり、もっと彼らと話せるようになりたいと思いました。

ホームステイ生活や授業を通して、自分の英語能力が勉強不足だと思い知らされました。だから、この体験をもとに、もっと英語を勉強しようと思うようになりました。また、日本のことをいくつか聞かれました。海外のことを学ぶことは大切ですが、日本のこともよく知っておかなければいけないことがわかりました。　（岡本真歩）

日常生活の中で英語を聞いていないので，ゆっくり喋ってもらわないと聞き取れなくて困りました。自分から会話をするときにはほとんど片言の英語でした。そのような片言の英語でも通じたときは，とても嬉しくて，もっといろいろな人と話したくなりました。

今回の経験で，英語の重要性を再確認することができました。ウェリントン・ハイスクールには多くの留学生が在籍しており，どうしても英語が必要だったからです。この経験を生かし，今後は英語をしっかり勉強して，将来は海外でも仕事ができるようになりたいです。　（井上翔太）

○広島大学オープンキャンパス（８月７日）

本校第１学年の生徒が広島大学のオープンキャンパスに参加しました。大学構内を約１時間散策した後，「芸術」や「スポーツ・健康」等，各自が希望した講座を受講しました。生徒は広島大学の広さや人の多さに圧倒されていたようですが，講座に関しては大学生の説明がわかりやすく参考になったと好評でした。

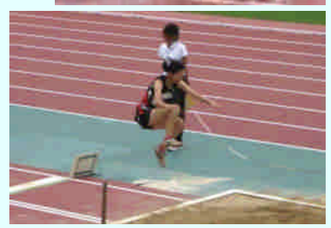
○ワークショップ（９月７日）

来年度着工予定の新校舎建設に向けて，関係者の方々をお招きして，新校舎の活用方法に関する意見聴取会を開きました。当日は，まず設計者の方から新校舎に関する説明を受け，プロポーザル工事となる木造平屋部分に使用される梁の耐久実験のイベントを行いました。その後は三つのグループに分かれて，活用案を出し合いました。

約 500kg の負荷をかけました。

活用方法について話し合いました。

○部活動結果報告



陸上競技部

第 63 回尾三地区学校対抗陸上競技選手権大会【８月７～８日】
- 男子 5000m 競歩　藤田浩輝（予選通過）
- 女子走幅跳　望月穂南（予選通過）

第 63 回広島県学校対抗陸上競技選手権大会【８月 24～25 日】
- 入賞者なし

第 54 回尾三地区陸上競技新人大会【９月１～２日】
- 男子 5000m 競歩　藤田浩輝（予選通過）
- 女子走幅跳　望月穂南（３位）
- 末田雪乃（予選通過）
- 女子走高跳　望月穂南（３位）

サッカー部

第 37 回尾三地区サッカーカップ大会【７月 27 日】
- 大崎海星　１―14　尾道東

第 92 回全国高等学校サッカー選手権大会【８月 31 日】
- 大崎海星　２―４　油木

サッカー部はどの大会もぎりぎりの人数での出場だったため，一人ひとりが全力で頑張りました。特に３年生の引退試合となった選手権大会では，２点を先取するなど奮闘しました。